



Environmental
& Social Report

[環境・社会報告書]

2010

経営理念

1. お客様第一の心で商品を創り
2. 知恵と技術で高品質を実現し
3. 人を大切にする明るい職場を築いて

企業の繁栄と豊かな環境作りで
社会に貢献する

目次 Environmental & Social Report 2010

環境報告

環境方針・推進体制	3
環境取組みプラン	4
環境に配慮した製品の開発	5・6
グループの環境取組み	7・8
地球温暖化防止	9
資源循環	10
環境負荷物質の低減	11
物流合理化の推進	11
環境監査	12
環境教育訓練	12
環境コミュニケーション	12

社会性報告

コーポレートガバナンス	13
お客様とのかかわり	14
サプライヤーとのかかわり	14
従業員とのかかわり	15
株主・投資家の皆様とのかかわり	16
地域社会とのかかわり	16
愛三熊本株式会社のご紹介	17
会社データ	18

対象期間

2009年4月～2010年3月
＊一部対象外の内容も紹介しています

対象範囲

愛三工業株式会社および連結子会社

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン2007年版」

環境会計、工場ごとの環境データは
ホームページに掲載しています。
<http://www.aisan-ind.co.jp/company/kankyo.htm>



環境を大切に、 世界のお客様に感動をお届けできる 企業をめざします。

愛三工業株式会社
取締役社長

小林 信雄



「環境・社会報告書2010」のお届けにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は長年にわたり、自動車分野において、ガソリンや空気などの流体を制御する技術を活かした電子制御燃料噴射製品などを中心に事業展開をしてまいりました。代替燃料エンジン、さらには次世代動力源へとクルマが今後も進化を続けていくなかで、キーテクノロジーである流体制御技術にさらに磨きをかけ、地球温暖化、大気汚染防止、省資源など、環境にやさしい動力源開発に貢献していくことが、当社の社会的使命であると考えております。

さらに、今後、愛三グループが社会とともに持続的に発展をしていくためには、経済活動だけでなく、社会からの信頼・共感を得ることが不可欠であり、環境保全活動とともに、コンプライアンスの徹底など良き企業市民としての社会的な取組みが重要であることはいまでもありません。当社グループは、2010年度会社スローガン「やりきろう構造改革 ～スピード重視で、みずから行動～」のもと、グループ一丸となり、社業の発展にまい進してまいります。引き続きご指導・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

本報告書によって、当社の取組みをご理解いただくとともに、皆様の率直なご意見をいただければ幸いです。

日頃の改善活動が 環境改善につながると考え 地道に活動を進めています

安城工場のメタセコイア

環境方針・推進体制

全従業員が、環境保全を意識して自ら行動できるよう活動しています。

●環境方針

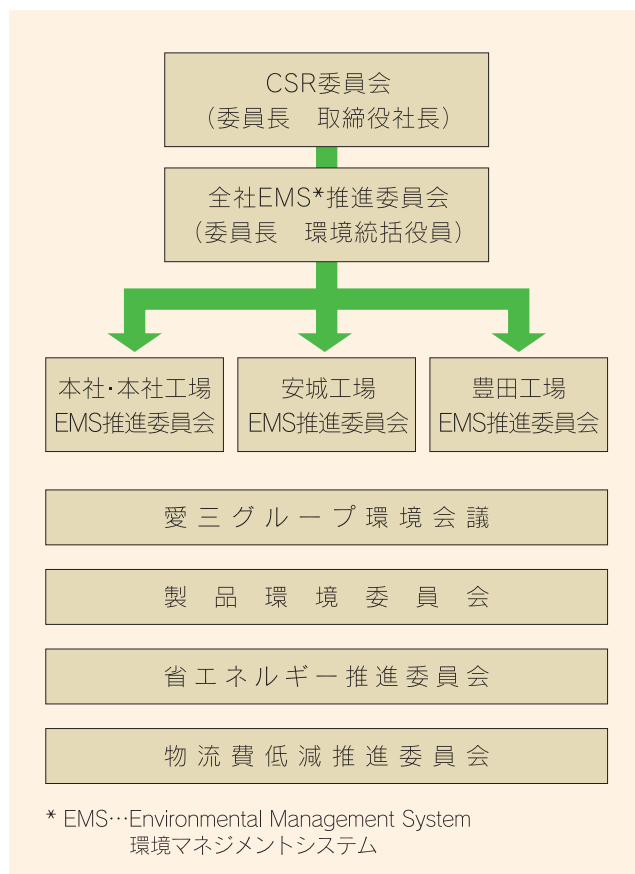
理 念

愛三工業(株)は、あらゆる動力源の流体制御技術を核とした製品の開発・製造を通じて、お客様に感動をお届けできる企業を目指します。
その実現のため、“環境保全”が事業活動の最重要課題の一つであると位置づけ、積極的に推進します。

方 針

- ① 環境に関する法律、条例などを順守すると共に、地域社会との対話を大切に、地域との環境調和をはかります。
- ② 事業活動に伴う環境負荷を可能な限り少なくすることを経営の最重要課題の一つとして捉え、環境保全に関する目的および目標を設定し、維持・管理します。
- ③ 事業活動、製品、サービスに係わる環境影響を的確に捉え、汚染防止と循環型社会の実現をはかるために、省エネ、省資源並びに生産活動及び製品中の環境負荷物質の低減に積極的に取り組みます。
- ④ 本方針を全従業員に周知徹底し環境保全に関する意識を高め、自覚と責任を持って継続的な改善に努めます。

●推進体制



環境取組みプラン

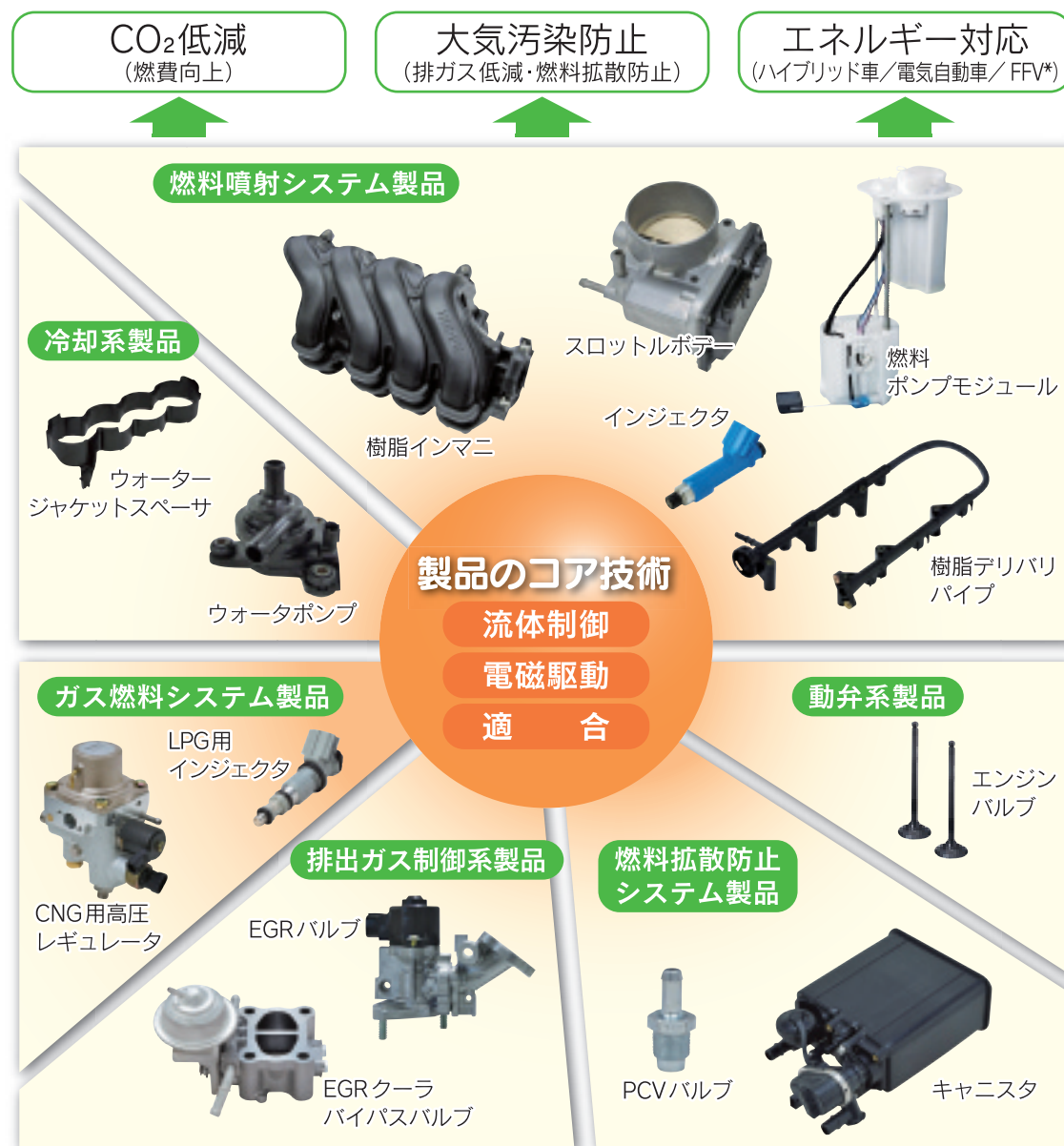
中期目標を設定し、活動しています。
これからも2010年度の目標達成にむけ、活動を推進します。

●環境取組みプラン 2010 (2006年～2010年)

	取組み方針と主な方策	評価指標と2010年度の目標	取組み概要
温暖化防止	生産活動におけるCO₂排出量低減 ①不良低減、直行率向上によるムダの排除 ②生産技術の革新等、画期的な生産性向上によるCO ₂ 低減の推進 ③新エネルギー利用技術の開発と導入	CO₂排出量 2010年度までに2003年度比5.8%減 (1990年度比10%減) 44.5千トン-CO ₂ 愛三グループCO₂排出量(売上高原単位) 2010年度までに2004年度比5%減	9 ページ
資源循環	循環型社会にむけた資源有効利用の推進 ①製品のリサイクル設計の推進 ②歩留り向上等の発生源対策による排出量低減 ③埋立廃棄物「ゼロ」の継続	埋立廃棄物排出量「ゼロ」の継続 焼却廃棄物排出量 2010年度までに2003年度比30%減 279トン 排出物量 2010年度までに2003年度比5%減 5.08千トン	10 ページ
環境負荷物質の低減	環境負荷物質の管理、低減活動の推進 ①環境負荷物質規制4物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム）のグローバルな全廃 ②環境負荷物質を含まない材料への代替化 ③生産工程の見直しによるPRTR対象物質の排出量低減	PRTR*対象物質排出量 2010年度までに2003年度比30%減 1.19トン * PRTR…Pollutant Release and Transfer Register 環境汚染物質排出・移動登録	11 ページ
物流合理化の推進	物流活動におけるCO₂排出量低減 ①輸送改善によるCO ₂ 排出量低減 梱包資材の使用量低減 ①梱包方法の改善、梱包資材の見直し ②充てん率向上による使用量低減	輸送CO₂排出量(売上高原単位) 2010年度までに2003年度比30%減 826kg-CO ₂ /億円 梱包資材使用量(売上高原単位) 2010年度までに2003年度比10%減 144kg/億円	11 ページ
環境経営	マネジメント ①連結環境マネジメント強化 ②グローバルな事業活動におけるCO ₂ 排出量低減 ③ビジネスパートナーにおける環境マネジメントの推進 ④環境教育の充実 ⑤製品のライフサイクルにおける環境負荷の着実な低減 社会との連携 ①環境情報開示とコミュニケーションの充実 ②持続可能な発展を踏まえた環境政策への積極的な貢献		5、6、 7、8、 12 ページ

環境に配慮した製品の開発

コア技術に磨きをかけ、製品開発を通じて環境への負荷を低減します。



* FFV…Flexible Fuel Vehicle (ガソリン・エタノールおよびその混合物を燃料とする車)

製品の環境性能向上に向けて

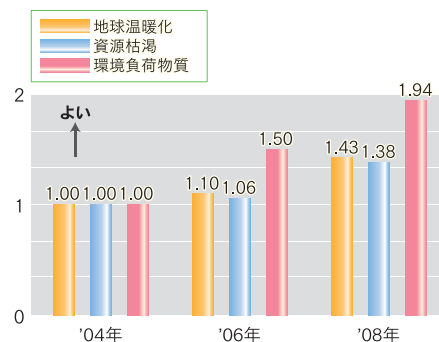
製品を通じて環境負荷を低減するために、日本自動車部品工業会が作成するガイドラインに基づき、製品環境指標を算出しました。この指標は、製品のライフサイクルにおける環境負荷および利便性などの製品価値を従来製品と比較して表現するもので、値が大きいほど良いことを示します。製品の開発段階から環境負荷低減を推進します。

指標の定義

$$\text{製品環境指標} = \frac{\text{新製品の環境効率}}{\text{従来製品の環境効率}}$$

$$\text{環境効率} = \frac{\text{製品価値(プラス面)}}{\text{環境負荷(マイナス面)}}$$

スロットルボデーの製品環境指標の推移



※2004年を1とした場合の指数

製品中の鉛使用量の削減を進めた結果、環境負荷物質の面で特に成果をあげることができました。

●適合

適合とは、エンジンが発揮する性能の最適化を追求することです。

厳しい排ガス規制、燃費規制に対応しつつ、あらゆる環境下でも快適性を確保できるエンジン制御システムの最適化を進めています。

環境性能

- ・クリーンな排ガス
- ・優れた燃費

運転性能

- ・スムーズな加減速

エンジン性能

- ・余裕のパワー



環境対応車両の適合業務強化

環境対応車両の適合業務を強化するために、技術棟を増築しました。ハイブリッド車・4WD車にも対応できる車両試験設備を導入しました。



増築した技術棟

適合業務の流れ

1.エンジン試験



最適なエンジン性能を引き出す

2.実車試験



排ガス規制・燃費規制を満足する適合

3.高・低温試験



あらゆる環境条件での性能確保

4.走行試験



加速感、振動などエンドユーザーが満足する走行性能の確保

●環境負荷物質の削減

製品中の環境負荷物質の低減活動を進めてきました。2009年度ははんだの鉛フリー化を進めました。一部切替えてきていない材料についても、代替技術の開発を進め、削減を進めます。

鉛フリーに関する活動

'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10
	ポンプのカーボンブラシ						
	ダイヤフラムのゴム						
			スロットルボデーの軸受				
(はんだ切替え推進中)							

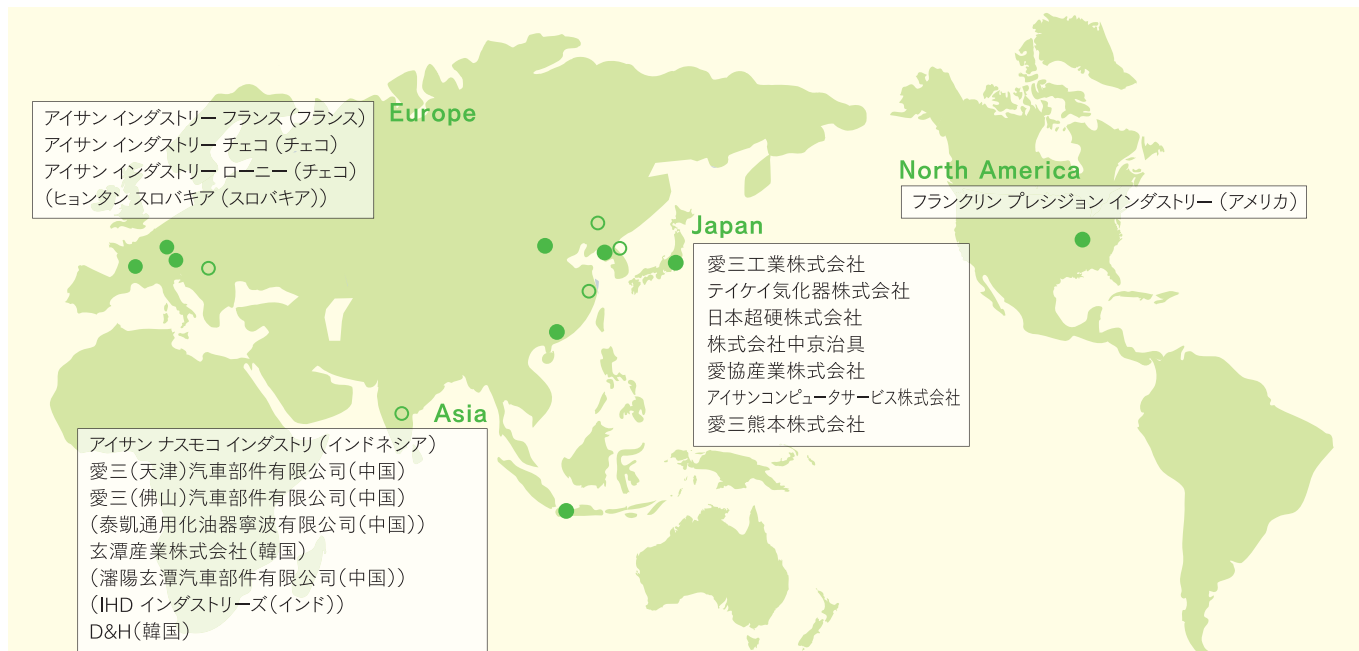
(はんだ切替え推進中)

グループの環境取組み

愛三グループとして、統一の目標を掲げるとともに、各地域の実情に合わせた環境活動を進めています。

●国内拠点および海外の生産拠点

● 連結環境対象会社



●連結環境への取組み

グローバルEMSガイドラインを策定しました。
「異常・苦情ゼロ、法令順守」「環境リスクの最小化」「環境パフォーマンス向上」を3本の柱として活動を進めます。



環境リスクの最小化

有害物質の漏洩、地下浸透を未然に防止するための社内規程・マニュアルの整備を進めています。



各国の環境問題に関する課題を共有する拠点長会議

異常・苦情ゼロ、法令順守

各国の法規制に迅速に対応するためのしくみを整備しています。

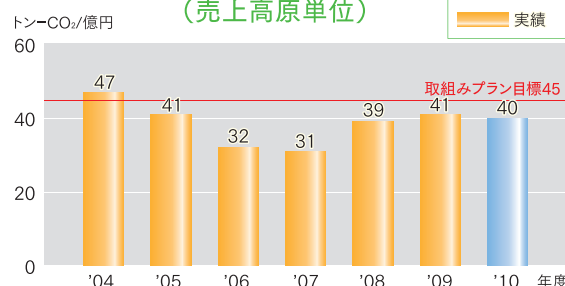


国内5社合同研修会での環境法令勉強会

環境パフォーマンスの向上

グループのCO₂排出量低減を会社方針に織込み、売上高原単位の低減活動を進めています。

グループのCO₂排出量の推移 (売上高原単位)



●各拠点での環境活動

愛三（佛山）汽車部件有限公司（中国）



環境報告書の発行



人事総務課 祝 毅軍さん
環境と社会に対する取組みをみなさんに知っていただきたいという
思いで制作しました。

アイサン インダストリー フランス（フランス）

スイッチオフを徹底するため、ロゴにより対象設備を特定するとともに、教育を実施しています。



従業員へのスイッチオフの徹底

愛三（天津）汽車部件有限公司（中国）

従業員がマイ箸を使用しています。



マイ箸を利用しての昼食

玄潭産業株式会社（韓国）

使用後捨てていた検査用燃料をくりかえし利用することにより、廃棄量を低減しました。



試験油自動回収装置

効果：排出物低減 10トン/年

テイケイ気化器株式会社

生産ラインのエアが、作業時に出っぱしになっていたが、フットバルブを取付け、必要な時だけ使用するようになりました。



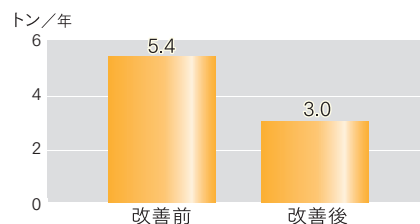
設置したフットバルブ

愛協産業株式会社

食用油酸化還元装置を導入しました。
食用油を長寿命化するとともに、油切れがよく、美味しくヘルシーになりました。



食用油酸化還元装置



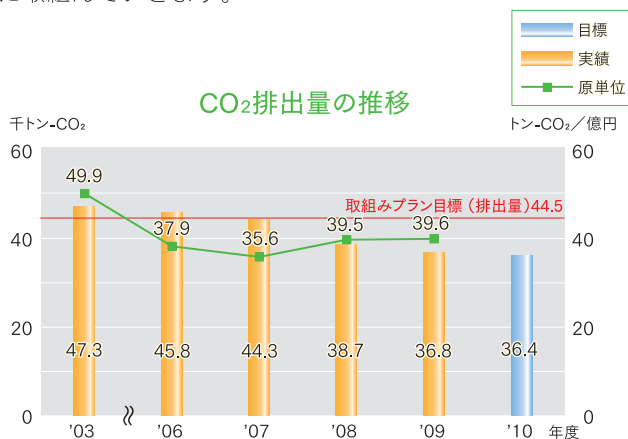
効果：排出物低減 2.4トン/年

地球温暖化防止

2009年度はCO₂排出量が2003年度比22%減になりました。(1990年度比26%減)
更なる低減に向けて活動を推進していきます。

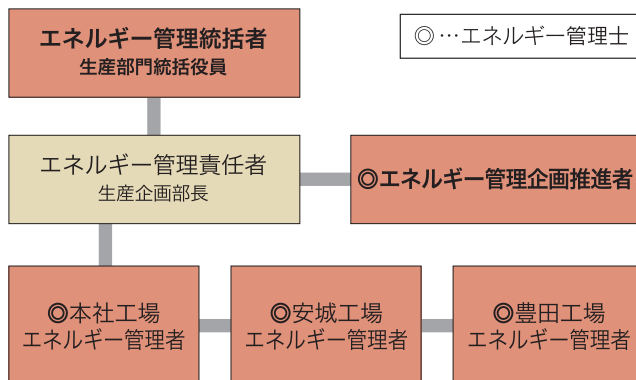
CO₂排出量低減

エネルギーの効率的な利用を推進し、売上高原単位の改善に取り組んでいます。



省エネルギー推進委員会

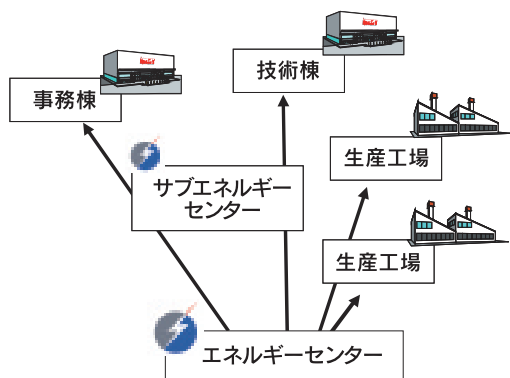
トップの強い意志のもと、最重要課題として省エネ推進組織をつくり、全社をあげて日々省エネに取り組んでいます。



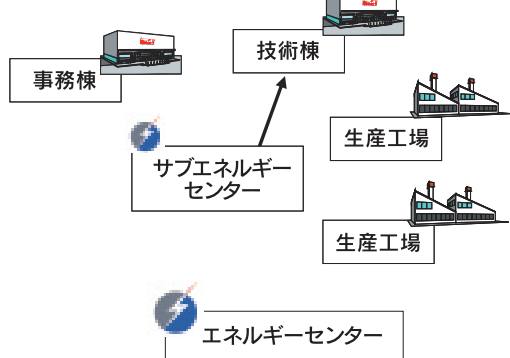
サブエネルギーセンターの設置

本社部門・本社工場部門に一括供給できるエネルギーセンターとは別に技術部門のみにエネルギーを供給できるサブエネルギーセンターを設置しました。使用場所の近くに配置することにより送気ロスを低減しました。

〈平日〉エネルギーセンターで全てのエア・蒸気を供給



〈休日〉技術棟のみ稼動する場合



効果：CO₂低減 120.0トン-CO₂/年

ダイカスト アルミの溶湯購入

毎週月曜日にアルミの溶湯購入を開始しました。アルミ溶解炉を早くから暖めることなくすぐに生産が開始できるようになり、都市ガスの使用量を低減することができました。

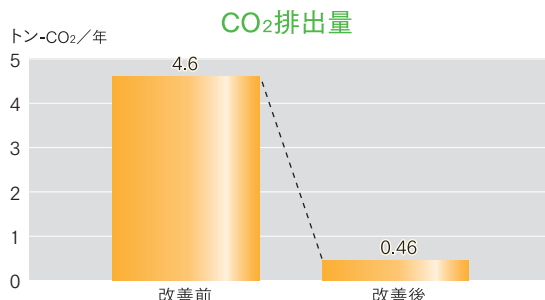


毎週届けられる溶湯ポット

効果：CO₂低減 37.0トン-CO₂/年

タッチモニター表示時間設定による省エネ

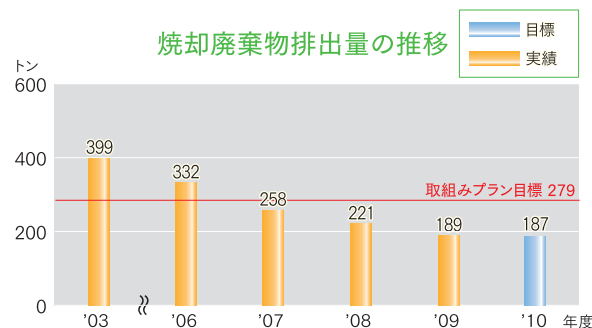
操作盤タッチモニターのバックライトの表示時間を設定し、操作後指定時間で表示が消えるようにしました。全社での展開をはかっています。



効果：CO₂低減 4.1トン-CO₂/年

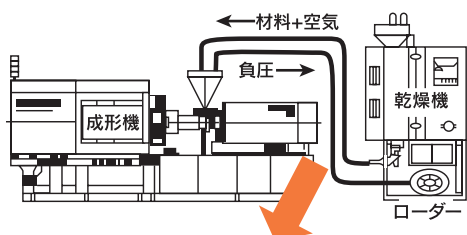
資源循環

社内再利用・歩留り向上活動を継続し、排出物低減活動を推進しています。



材料供給装置の改善による排出物低減

樹脂部品成形の設備停止時に供給装置のホース内に樹脂材料が残らないよう改善し、排出物を低減しました。

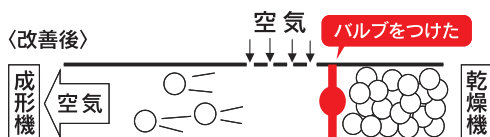


【設備停止時のホース内】

〈改善前〉



〈改善後〉



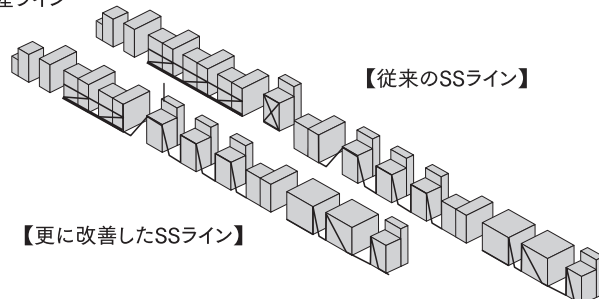
バルブを取りつけ、設備を止めても材料がホースの中に残らないようにした

効果：排出物低減 14.4トン/年

生産工程の削減による排出物低減と省エネ

エンジンバルブ生産ラインを見直し、従来のSSラインの生産工法を改善し工程を削減しました。これにより排出物とエネルギー使用量を低減することができました。他のエンジンバルブ生産ラインにも展開していきます。

エンジンバルブ
生産ライン



効果：排出物低減 1.1トン/年

効果：CO₂低減 58.2トン-CO₂/年

経済産業省による省エネ調査に合格

経済産業省による省エネ法現地調査が'09年10月に本社・安城工場、'10年2月に豊田工場で行われました。

各工場とも基準を満たし合格することができました。今後も全社で省エネ活動に取り組んでいきます。



豊田工場での審査の様子



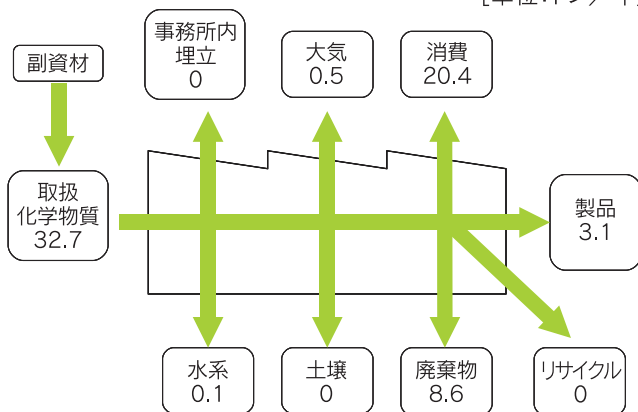
本社工場での現場確認

環境負荷物質の低減

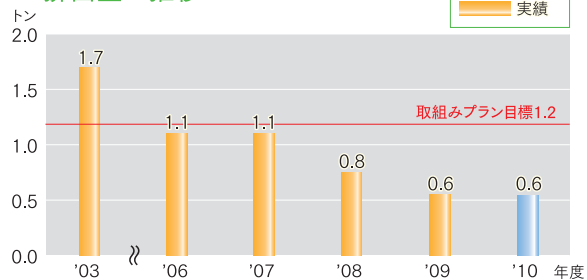
環境負荷物質を管理し、削減を進めています。

●PRTR法対象物質排出・移動量

[単位:トン/年]



PRTR対象物質の大気・水系への排出量の推移



●PRTR法改正に伴う対応

PRTR^{*1}法改正に伴い、2011年4月分より国に届出が必要な化学物質が変更されました。サプライヤーからMSDS^{*2}を再取得し、対象物質の管理・削減をすすめます。

*1 PRTR…Pollutant Release and Transfer Register

環境汚染物質排出・移動登録

*2 MSDS…Material Safety Data Sheet (製品安全データシート)

化学物質の性状および取り扱いに関する情報を記載したデータシート

物流合理化の推進

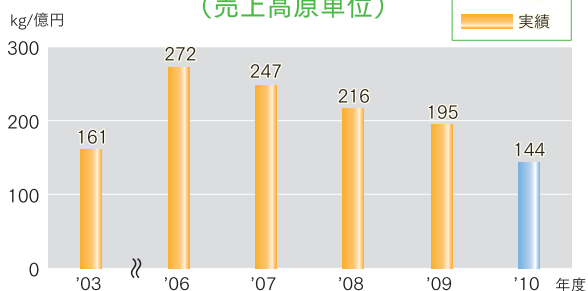
愛三グループ一丸となって、環境にやさしい物流の合理化に取り組んでいます。

●物流CO₂・梱包資材の低減

輸送CO₂排出量の推移 (売上高原単位)



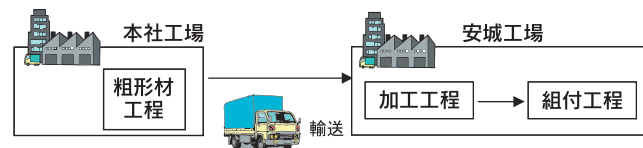
梱包資材使用量の推移 (売上高原単位)



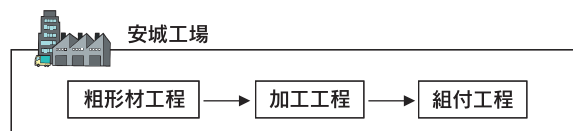
安城集約による定期便の削減

本社工場にあったダイカスト設備を安城工場に集約し、粗形材・加工・組付を一貫して生産できるようになりました。それにより本社工場と安城工場間の定期便を4便(日当たり)削減することができました。

〈改善前〉粗形材工程終了後、安城工場へ輸送



〈改善後〉安城工場で一貫生産でき、定期便削減



効果: CO₂低減 20.4トン-CO₂/年

環境監査

環境マネジメントシステムの維持・向上のために、定期的に内部監査を実施するとともに第三者審査機関による審査を受審しています。

●内部監査

内部監査チームは2名1組で班を編成し実施しています。2009年度は、監査の質を向上するため、熟練者をリーダーとして行いました。

●サーベイランス



審査員の質問に答える中野常務取締役

環境教育訓練

廃水や油の漏れなどの緊急事態を防止することはもちろん、従業員がつねに環境を意識して行動ができるよう、身近な環境活動の展開を進めています。

●緊急事態対応訓練

緊急時には的確に対応できるよう、計画的に訓練を行っています。



豊田工場の薬品漏れを想定した訓練

●環境展

6月の環境月間には、毎年各工場で環境展を開催しています。



本社での環境展の様子

●エコメールの配信

従業員が日頃より環境を意識し、行動できるような日常生活に関連したエコ情報を配信しています。

環境コミュニケーション

地域と連携した活動を進めています。

●安城市環境大学院に参加

安城市の環境大学院にパネラーとして参加しました。これからの環境活動について、地域みなさんと意見交換をしました。



熱弁をふるう安城工場管理部の中西部長

●油ヶ渚漁協からの表彰

油ヶ渚の清掃活動などの美化活動が評価され、表彰を受けることができました。



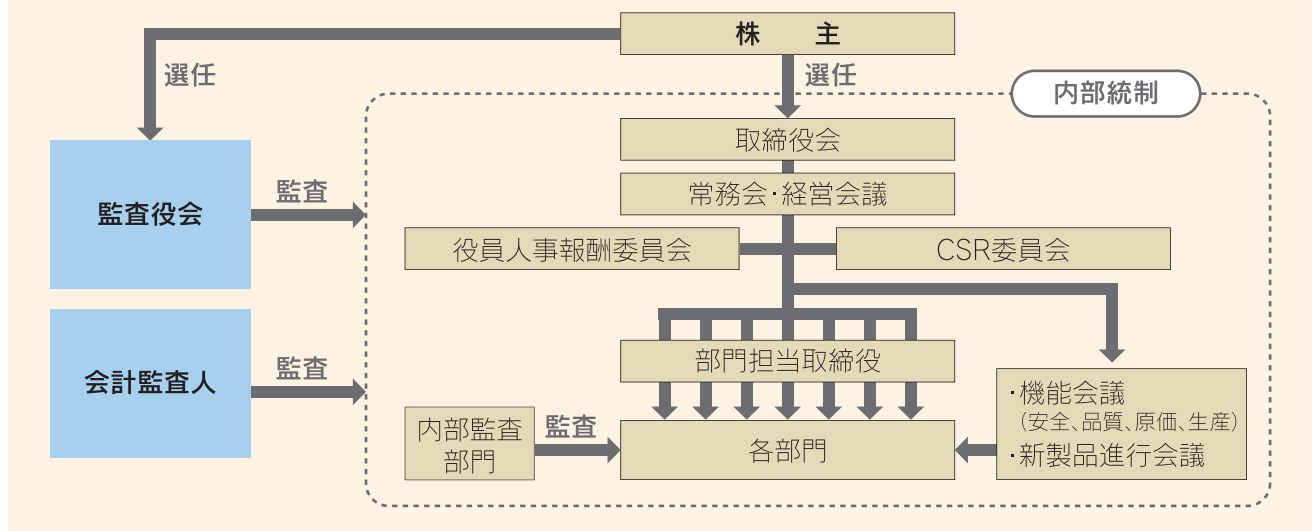
●豊田市 環境協定協議会への参加

2009年2月に豊田市と環境協定を再締結しました。豊田市や他の環境協定を締結した企業の取組みを共有し、環境保全活動のレベルアップをはかっていきます。

コーポレートガバナンス

経営理念およびVISION2015を実現するため、株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、さまざまな内部統制の仕組みを整備し、経営の迅速化や公正かつ透明性のある経営に努めています。

コーポレートガバナンス体制



●愛三グループ行動指針

1. 一人ひとりがそれぞれの仕事の品質を向上するよう、研鑽します。
2. 国内外の法令を守り、会社の規則に従って行動します。
3. お客様に信頼され満足いただける「魅力ある製品」を提供することにより社会の発展に貢献します。
4. 地球環境の保全を目指し、積極的な取り組みを行います。
5. 公正かつ自由な論争に基づき取引を行い、長期安定的な成長を実現します。
6. 従業員を大切にして、一人ひとりが生き生きと働ける環境を整備します。
7. 国際社会の一員として世界各地の文化・慣習を尊重し、その地域の発展に貢献します。
8. 企業を取り巻く様々な関係者とのコミュニケーションを積極的に行います。
9. 世の中から尊敬される「よき社会人」として行動します。

●相談窓口「ヘルプライン」

法令および企業倫理順守、行動指針などに関わる相談窓口「ヘルプライン」を設置し、従業員（派遣社員を含む）とその家族からの相談を受付けています。

●啓蒙活動



内部統制教育の実施



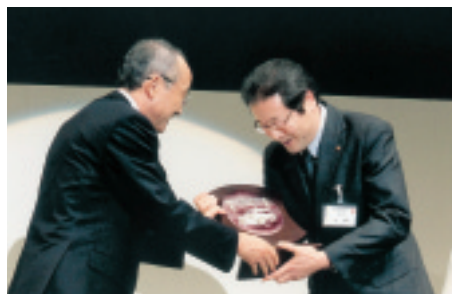
朝礼資料やポスターで法令順守を啓蒙

お客様とのかかわり

世界のお客様に信頼され、満足いただける製品を提供できるよう、「お客様第一」「品質第一」で心をこめたモノづくりをしています。2009年度も国内外のお客様からさまざまな賞をいただきました。

●お客様からの主な表彰

	お得意先	受賞名
日本	トヨタ自動車(株)	MI賞 ※軽量化に貢献
	マツダ(株)	VA・VE多数件賞
	スズキ(株)	Best Partner 賞
	日野自動車(株)	品質管理賞「優秀賞」
北米	Toyota Motor Engineering & Manufacturing North America, Inc.	品質優秀賞
	Subaru of Indiana Automotive, Inc.	納入優秀賞
	Toyota Industrial Equipment Mfg., Inc.	QCD管理優秀サプライヤ賞
アジア	P.T. Astra Daihatsu Motor	品質、納期最優秀賞 原価優秀賞
	Hyundai Mobis Co., Ltd.	2009年度 上半期優秀協力社賞
欧州	Toyota Motor Europe NV/SA	PM賞(銅賞)



MI賞受賞式

●MI賞を受賞した高性能キャニスタ

北米の厳しい環境規制に、低コストで対応できるガソリン蒸気の漏出防止装置。タンクシステム質量の約3割の軽量化に貢献しました。



サプライヤーとのかかわり

サプライヤーと当社がパートナーとして相互に信頼し合い、発展していけることが重要と考えています。主要サプライヤー(24社)で組織・運営する「愛協会」では、安全・環境および品質、原価などのテーマ研究や研修会を行い、相互研鑽のための活動をしています。

●愛三工業調達方針

1.オープン調達

当社は、国内外、取引実績の有無を問わず、Q・C・Dおよび技術開発力に優れたサプライヤーを選定します。

2.相互信頼にもとづく相互発展

当社は、品質向上および原価低減のため、製品開発段から量産中のものまでサプライヤーのノウハウによる改善提案をスピーディーに採用し、競争力のある製品づくりに取り組んでいます。

3.現地調達の推進

当社は、お客様の要求に応えるべく、現地生産の拡大をはかっています。現地生産にあたっては、設備・資材・部品の現地調達を第一優先として活動しています。

4.法の順守

当社は、調達活動において、社会規範、法規を順守しています。また、相互の機密情報の取扱いについて十分な注意を払っています。

●サプライヤーとの関係強化



サプライヤー表彰



愛協会の研修会

従業員とのかかわり

従業員の多様な個性を尊重し、安全で安心して働ける職場で能力を活かせるよう、全員参加で快適な環境づくりを推進しています。こころとからだの健康に関するケアはもちろん、専門性の高い教育によるスキルアップ支援を行うなど、より充実した会社生活の基盤づくりに力を入れています。

●安全衛生方針



安全衛生方針

【理 念】

安全衛生は、企業の永続的な基盤をなすものであり、社会的責任を負うものであるという認識のもと、「人権性の尊重」、「健康第一」、「安全第一」を基本理念とし、安全で安心な働きやすい職場環境づくり活動を全員参加により推進する。

【方 針】

1. 労働安全衛生法や安全衛生規程を順守し、労働安全衛生マネジメントシステムIOSH-IMSの活用による安全衛生水準の向上をはかる。
2. 組織体制の確立と役割を明確にし、安全衛生活動を推進する。
3. 全ての従業員(派遣・パート社員含む)に対し、十分な教育・訓練を実施する。
4. 安全と健康な心身確保のため、従業員との話し合い・協議を尊重し、推進する。
5. 明るく快適で、健康的な職場づくりに努める。

●働きやすい職場環境づくり



リスクアセスメントによる危険箇所の洗出しと改善

●専門教育の充実



電子・電気技術教育基礎コースを開講

●こころとからだの健康づくり



メンタル問題未然防止に向けてリスナーを育成



生活習慣病予防のためのファイトクラブ
玄潭産業株式会社(韓国)



全従業員で山登り

●グローバル人材の育成

愛三(佛山)汽車部件有限公司(中国)



QCサークルリーダーが日本で事例を発表

株主・投資家の皆様とのかかわり

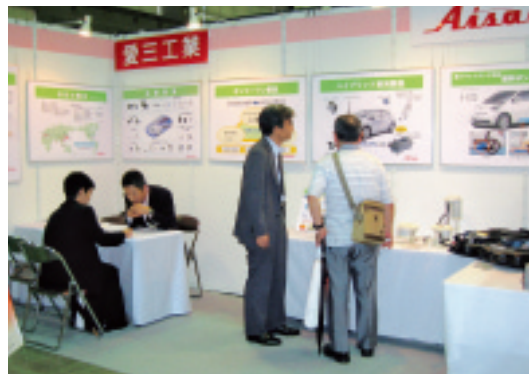
当社を正しくご理解いただくため、株主総会や決算説明会・個人投資家向けイベントなどのIR活動を通じて、経営戦略や財務情報などの企業情報をタイムリーかつ正確に発信し、コミュニケーションの向上をはかっています。

●株主総会



第107回定時株主総会

●IR活動



名証IRエキスポに出展

地域社会とのかかわり

良き企業市民として地域社会との共生をめざし、青少年育成やクリーン活動、交流行事の開催など、国内外でさまざまな社会貢献活動に継続的に取り組んでいます。

●スポーツクラブの社会貢献活動

自転車部



自転車教室を開催

陸上競技部



練習で使う市道を清掃

●海外拠点の社会貢献活動

アイサナ スモコ インダストリ(インドネシア)



地域の子供たちとの食事会

愛三(佛山)汽車部件有限公司(中国)



地域の植樹に参加

フランクリン プレジジョン インダストリー(米国)

がん患者の化学療法費用支援のため、ペットボトルのキャップ3000個を収集する活動に協力しています。

愛三熊本株式会社のご紹介

愛三熊本株式会社が2010年1月、愛三グループでは初になる九州地区の工場として操業を開始しました。

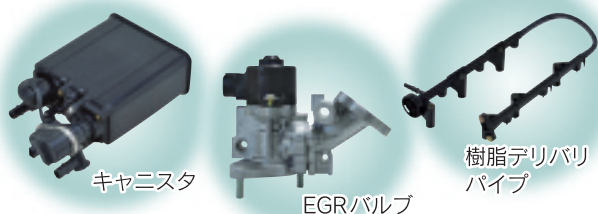
会社概要

会 社 名: 愛三熊本株式会社
所 在 地: 熊本県玉名市北牟田393番地1
会社設立: 2008年7月1日
操業開始: 2010年1月
敷地面積: 43,128㎡ 建屋面積: 4,304㎡
得 意 先: トヨタ自動車九州(株)、ダイハツ九州(株)、マツダ(株)



愛三熊本(株)の外観

主要製品



キャニスタ

EGRバルブ

樹脂テリバリパイプ

「人にやさしい環境・快適な工場とする」の考えのもと、シンプル・スリムでコンパクトな工場です。

敷地に十分な緑地を確保し、サクラ・モミジ・ツツジなど植物を多く植え、自然に親しめる環境づくりを行っています。



工場長 神谷 佐登志さん

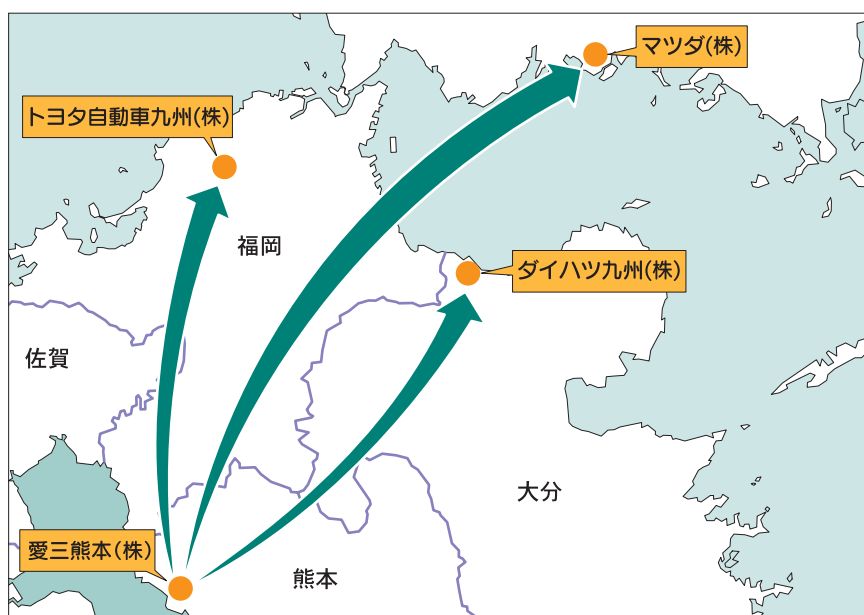
2010年1月から11名でスタートして今では26名です。

若い人たちが多く、活気ある元気な会社です。どこもかしこも新しく、まだまだ若木の企業ですが敷地に植えた木々が10年20年と年輪を重ね、緑を繁らせるように末永くお客様、地域の皆様に愛される企業でありたいと思っています。

お客様に近い生産工場

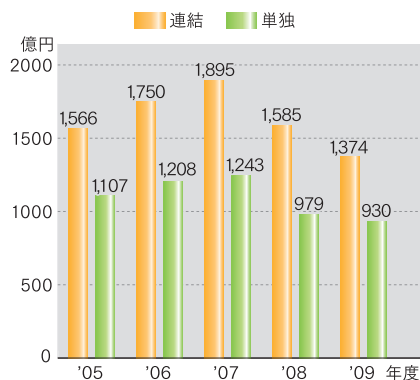
愛三熊本のお客様は北九州地区にあります。お客様の近くで生産することにより、愛三工業(株)で生産して輸送するよりも輸送距離が短縮され、CO₂低減にも多いに貢献しています。

効果: CO₂低減 8.1トン-CO₂/年

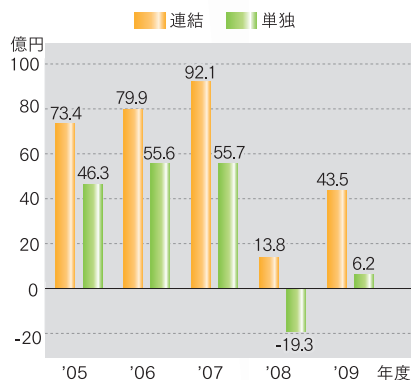


会社データ

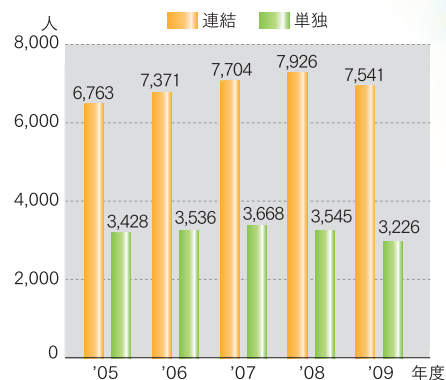
●売上高



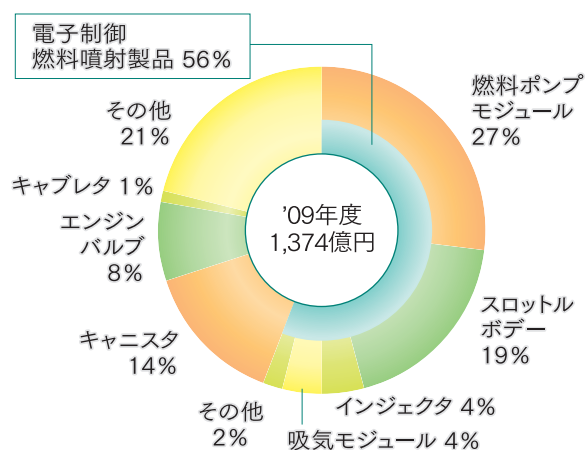
●営業利益



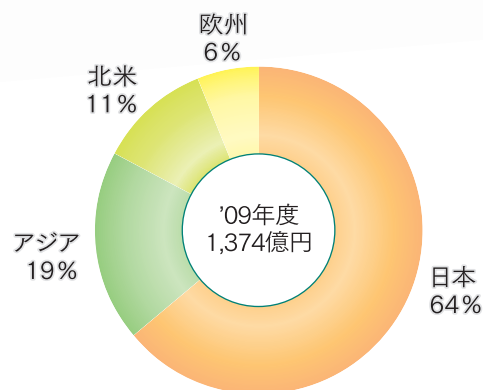
●従業員数 (臨時従業員含む)



●製品別売上高



●地域別売上高



社名	愛三工業株式会社
設立	1938年12月2日
事業内容	自動車部品等の製造・販売
資本金	74億88百万円
本社	〒474-8588 愛知県大府市共和町一丁目1番地の1 電話 (0562) 47-1131
国内工場	本社、安城、豊田
連結子会社	23社 (国内 5社 海外 18社)
従業員数*	単独 3,226名 連結 7,541名 *臨時従業員含む
ホームページ	http://www.aisan-ind.co.jp

(2010年3月31日現在)

主な生産品目	● 電子制御燃料噴射製品 燃料ポンプモジュール スロットルボデー インジェクタ など
	● キャニスタ ● エンジンバルブ ● キャブレタ ● ガス燃料(LPG・CNG)製品 など

●編集後記



安城工場に咲くりんごの花

「環境・社会報告書2010」をご覧いただき、ありがとうございました。企業を取り巻く社会状況は日々激しく変化しています。その変化に取り残されることなく、地球環境を次の世代へ残していくため、持続可能な社会づくりへ貢献できるよう今後も取組みを続けてまいります。

添付いたしましたアンケートにご回答いただき、忌憚のないご意見ご感想をお寄せいただければ幸いです。

Aisan 愛三工業株式会社

発行日 2010年6月（創刊2001年）

次回予定 2011年6月

発行元 愛知県大府市共和町一丁目1番地の1
愛三工業株式会社

お問合せ先 経営企画部 TEL.0562-48-6215
環境推進センター TEL.0562-48-6416
e-mail eco@aisan-ind.co.jp
ホームページ <http://www.aisan-ind.co.jp>



環境配慮型の製品として保証された
FSC森林認証紙を使用しております。



資源の保護及び環境対応のため
大豆インキを使用しています。